

【実施報告】2019.11.24 LAB to CLASS プロジェクト主催  
海を学ぼうスクール in 中野区～海と日本 PROJECT／海の生きもの KIDS ワークショップ

## もっと知りたい！イルカのふしぎ

講師：人見道夫（ネイチャーガイド 風の道）



### 概要

イルカをもっと好きに、イルカの棲む海を好きに、海を含む自然を好きに、そして、好きなモノを大切にしたいと思う気持ちを育むことを目的とし、イルカを入り口としたワークショップを実施しました。

- テーマ：イルカ
- 対象：小学2～6年 16名
- 会場：学校法人新渡戸文化学園
- 実施時間：2時間
- 使用教材：鳴き声仲間さがし／イルカを知ろう！／実物大のイルカを作ろう！
- 主な学習（紹介）テーマ：イルカの生態について、イルカの身体の大きさ及び構造

## 活動の様子



### ◎アイスブレイク

皆でジャンプ！

魚の群れになった気分で声を合わせてみんなで同じ方向へジャンプ！  
ぶつからないように周囲の気配を感じるのがポイントです。



### ◎鳴き声仲間探し

目隠しをして、声だけで自分の仲間を探します。

音を使って生活しているイルカたちの世界を疑似体験。

子どもたちの元気な声が響き渡りました。声を出すのは得意ですが、仲間の声を探すのが、難しかったです。



### ◎イルカを知ろう！

イルカの暮らしについての、三択クイズ形式プログラム。

正解を当てることより、問いに対する答えを自分で考えることを優先しました。三問しかありませんでしたが、最後には、どうしてそう思うのかなど、自分の考えをしっかりと話してくれるようになりました。



◎実物大イルカをつくろう  
 小学生が数名のグループで時間内に完成できるように、あらかじめつくっておいた実物大のイルカの胴体に、背ビレ、胸ビレ、尾ビレ、吻などを付けていきます。「どこについているのかな？どんな向きかな？」みんなで相談しながら進めます。



◎振り返りと集合写真  
 最後に、面白かったこと、印象に残ったこと、イルカのイラストなどを書いてもらいました。そして、自分たちでつくった実物大のイルカと一緒に集合写真！



## 実施後の感想

イルカが棲んでいる「音を中心の世界」の体験、生態の不思議、実際に触れることができるイルカ。知識を言葉で伝えるのではなく、自分の身体を動かし、自分で想像して、自分の手で触れて感じるワークショップは、小学生の柔軟で豊かな感性に響いたようで、最後まで集中して楽しんでくれました。じつは、はじめはイルカが好きではなかった子もいましたが、最後にはみんながイルカを大好きになってくれました。「イルカが好き」「大切にしたい」という気持ちを今後もさらに育み、イルカや海を思い、そのための行動に繋がっていったら嬉しいです。

# 進行表

| 所用時間 | 内容        |           | 詳細   | 準備物（備品）                      |
|------|-----------|-----------|--|------------------------------|
| 10分  | 導入        | 挨拶        | 自己紹介   |                              |
| 10分  |           | ウォーミングアップ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「みなさん！〇〇してください」</li> <li>・「みんなでジャンプ」</li> </ul> ※楽しく身体を動かすことで緊張をほぐし、みんなで楽しむ雰囲気をつくりました  |                              |
| 15分  | アクティビティ体験 | 鳴き声仲間探し   | 目隠しをして、決められた鳴き声を出し、同じ鳴き声の仲間を探すプログラム。聴覚を使うイルカの世界を疑似体験しました。<br>※声を出したり、音を聞いたり、声を出すのは得意でも聞くことが苦手、また、聞くことは得意でも声を出すのが苦手など、それぞれの個性をスタッフがフォローするのがポイントです。  | 目隠し用バンダナ、教材《鳴き声仲間探し》カード（人数分） |
| 15分  |           | イルカを知ろう！  | イルカについて三択クイズ形式で学ぶ <ul style="list-style-type: none"> <li>・イルカはどうやって眠る？</li> <li>・イルカの仲間はどれ？</li> <li>・イルカの生活は、単独または群れ？</li> </ul> ※自由に自分で考える、想像することの楽しさを味わってもらうために、正解探しよりも自分で考えたことを大切に選ぶことを優先しました。<br>※一般的に正解とされることも説明しましたがすべての選択肢が正解となりうる解説をしました。 | 教材《イルカを知ろう！》フリップボード          |
| 5分   | 休憩        |           | 水分補給   |                              |
| 5分   | イルカ画像上映   |           | 教材《実物大のイルカを作ろう！》のモデルとなった御蔵島のイルカをスライドや動画で紹介。<br>ヒレの位置、動き方を確認してもらいました。   | PC、プロジェクター、                  |

|     |            |   |  |  |
|-----|------------|---|--|--|
| 40分 | アクティビティー体験 | 実物大のイルカをつくろう！   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・1グループが4～6名の3グループに振り分け</li> <li>・今回は2～4年生、4年生、4～6年生の3グループ</li> <li>・2年生は保護者が一緒に参加</li> <li>・各グループにスタッフ一名が担当</li> <li>・小学生向けに、胴体、胸ビレ、背ビレ、尾ビレ、吻、それぞれ完成されたパーツがバラバラの状態スタート</li> <li>・吻をつけると膨らませづらくなるので吻をつけるのは最後</li> <li>・眼、噴気孔、生殖器はクレヨンで描く</li> <li>・ドライヤーは必ず冷風</li> <li>・各グループビレが着いた頃に、噴気孔、生殖器の場所がわかる動画を上映</li> </ul> <p>※終盤に集中力が落ちてくるので動画を流すことでリズムをつけました。</p> <p>※同様に以下の事項を、特に飽きている子に届くように全体に投げかけました</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イルカのお腹の色の違いはなぜ？</li> <li>・尾びれの動かし方</li> <li>・イルカに名前を付ける、男の子、女の子</li> </ul> <p>※全員に均等に作業があるわけでは無いので、飽きないように上記のような配慮が必要</p> | <p>教材(実物大イルカ3セット)<br/>ドライヤー、ハサミ、セロテープ、両面テープ各3セット</p> <p>イルカの水中動画、または写真数種</p> |
| 10分 | まとめ        | <p>■保護者へ向けて</p> <p>好きから始まる「自然を大切にしたい」という気持ちを育みたい、子どもたちが興味を持ったことを伸ばしていくことがポイントだと思います。</p> <p>■子どもたちへ向けて</p> <p>たくさん遊んでね！面白いと思ったら調べて想像して、また遊ぶ、そうするともっとおもしろくなるよ！</p> |  |  |
| 10分 | 記念撮影       | A4用紙にイルカの絵や面白かったことを記入してもらい、参加者全員でつくったイルカと一緒に記念撮影。   |  |  |